

### 患者教育用DVD視聴による転倒転落防止活動

医療安全推進室 井上文江  
 医療安全推進室室長 福村文雄  
 リハビリテーション科部長 黒木洋美  
 ふれあいセンター 羽坂尚美  
 飯塚病院 看護部

2009. 02. 05

IZUKA HOSPITAL

### 飯塚病院の概況

- 開設 大正7年8月
- 定床数 1,116 床(一般978床, 精神138床)
- 従業員数(H19年度) 1,652名  
 医師 229名 看護師 847名 医療技術者 262名  
 事務その他 314名
- 救命救急センター併設  
 一日平均受診者数(H19年度) 135名 2次・3次は17名  
 Ns.によるトリアージ体制
- 平均在院日数(H19年度) 15.0 日
- 一日入院患者数(H19年度) 850名 外来患者数 2,158名  
 (数字は2007年度の実績)

IZUKA HOSPITAL

### はじめに

- 2001年から転倒転落防止に取り組んできた  
 2段階式アセスメントシートと対策表、介助パー  
 離床センサーやプロテクター、緩衝マット、クッションフロ  
 アー
- 2004年 転倒・転落入力システムの構築  
 効果・効率的に防止活動を行えるよう入力システムを構築。  
 2004年12月より運用を開始
- 2007年 医療者・患者教育用転倒転落防止DVDの作成  
 患者の積極的参加による転倒転落防止を図る

IZUKA HOSPITAL

### 通常業務

(入院時、3～5日後、  
7日後、状態変化時)

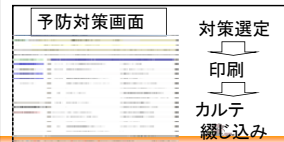


### 事故発生時



- ・発生日時
- ・外傷の有無と程度
- ・患者要因 etc

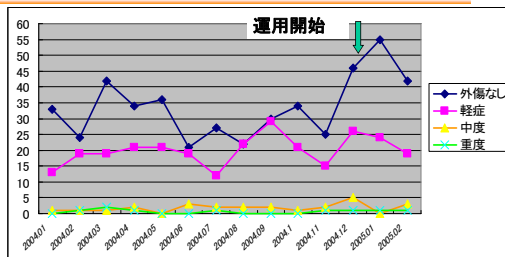
### 集計 (管理者が随時)



- ・危険度別
- ・要因別
- ・対策別
- ・発生時間別
- ・病棟別 etc

IZUKA HOSPITAL

### 転倒・転落事故件数の推移

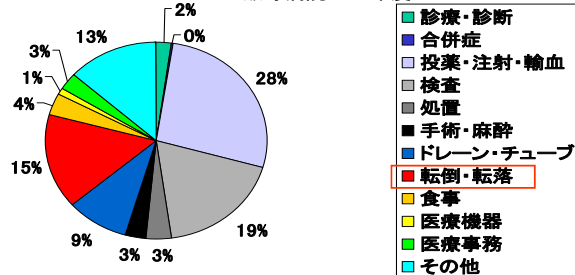


- 2004年12月より運用開始後、外傷なしが増加
- 軽傷、中度、重傷に大きな変化はない

IZUKA HOSPITAL

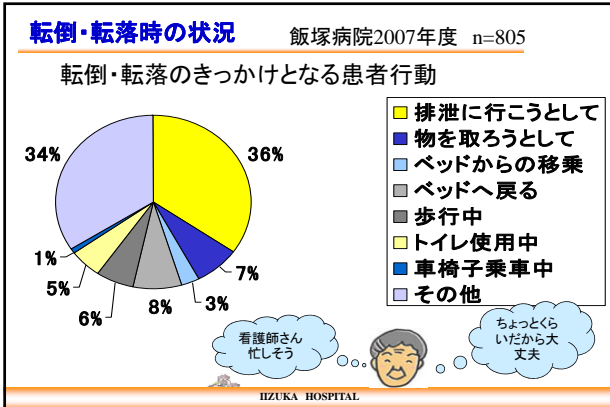
### 不具合(インシデント・アクシデント)報告の状況

飯塚病院2007年度 n=5305



転倒・転落は総報告の中で3番目に多く、解決すべき問題

IZUKA HOSPITAL



### 転倒・転落防止のための患者教育ツール

転倒・転落分析結果を基にDVD制作 (飯塚病院、早稲田大学、NDP※との共同制作)

1. 医療者編 (62分)
  - ・01. 入院すると環境が変わります
  - ・02. 安全な動き方を覚えましょう
  - ・03. トレーニングしましょう
  - ・04. まとめ
3. ベッド上で誰でもできる運動療法 (10分)

※NDP (National Demonstration Project on TQM for Health)  
IZUKA HOSPITAL



### 患者教育の効果を上げる仕掛け

転倒・転落の低減は2006年度から看護部目標の1つ

- 2006年度目標: 前年度発生件数の25%減  
転倒・転落アセスメントシートの使用率アップ
- 2007年度目標: 重傷事例の低減.  
入院案内コーナーで転倒・転落防止DVD上映.  
入院ベッドサイドのテレビで無料視聴

**効果の兆し無し**

- 2008年度目標: 入院患者さんがDVDを視聴する  
目標値 患者視聴率80 %

IZUKA HOSPITAL



### 患者さんへのテレビ放映の案内・評価

【展示物…案内分、ポスター】

- 病棟の案内展示ボードに貼る
- ベッドサイドに貼る、テレビに貼る
- 病棟のパンフレッドに綴じ込む、手渡す

【患者さんへのおさそい】

- 担当Ns…①入院オリエンテーション時の説明  
②放映時間になれば声をかける  
③可能であれば一緒に視聴する
- リーダー…AM・PMのラウンド時に声かけ、一斉放送のアナウンス

【評価】

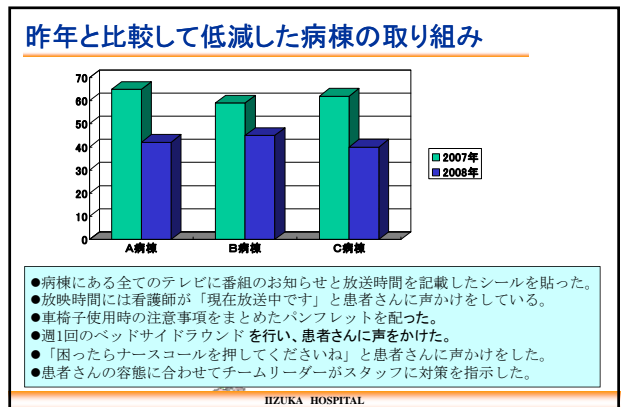
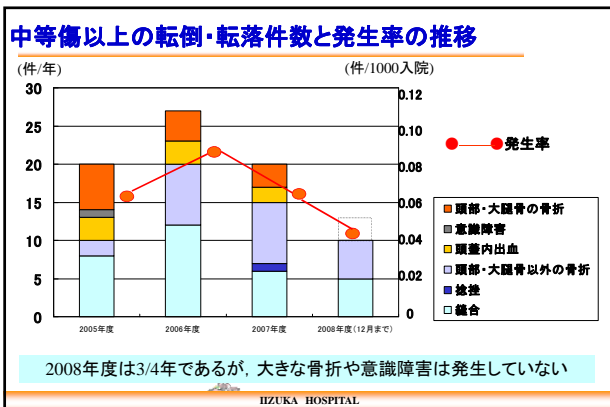
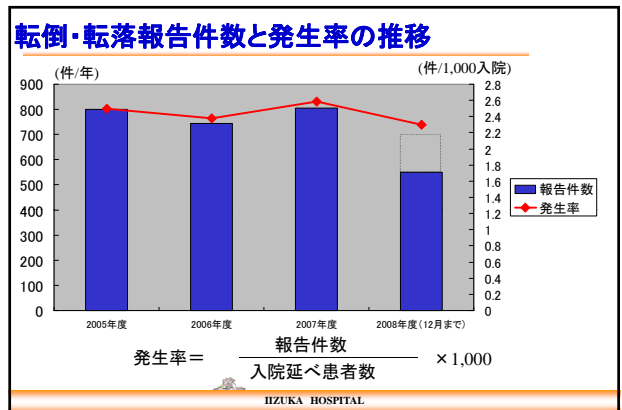
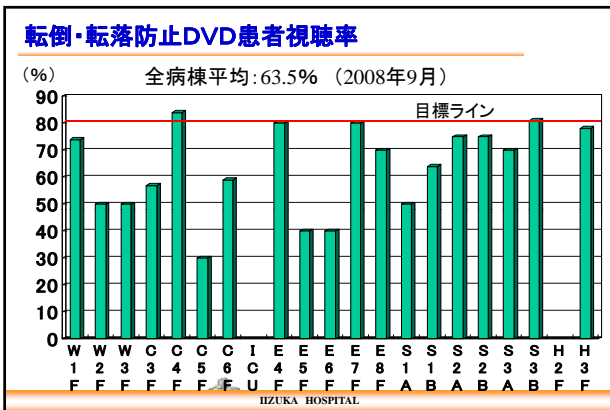
- 師長またはセーフティマネジャー…毎月、視聴率の調査・評価

【フィードバック】

- データを示し、低減した病棟の取り組みを発表(意見交換の機会)

患者さん同志で声かけ合う姿も見かけるようになった

IZUKA HOSPITAL



## まとめ

- 転倒・転落は他のインシデント・アクシデントと異なり患者側の要因が多いので、低減には患者参加が必須である
- 患者教育には様々な方途の創意工夫が必要であり、DVD視聴は転倒・転落防止に有効であった。
- 看護部目標に、より具体的な実施案と目標数値を採用することで転倒・転落件数の低減につなげることが出来た。



IIZUKA HOSPITAL